

“学びをひろげる わたしと〇人の会” 第10回研究会の報告です。

「異文化コミュニケーション: 異文化を知る、自分を知るために」をテーマに取り組みました。

1. 最初に参加者それぞれの「異文化との出会い」を交流した。気軽に話を交わすつもりで進めたのだけれど、一人ひとりが生き立ちをふり返りながら語り、それが続いていく。

子どもの頃の在日朝鮮人の友達や家族との出会い、学生運動や被差別部落との出会い、からだの特徴でイジメにあったこと、障害のある弟と通う学校生活、結婚で大阪に来た時のショック、結婚生活そのもの、…障害者になったことが最大の異文化との出会いであったというように。「異文化」とは実にさまざまであり、また身近にあるものだと気づいた。その「異文化」との出会いを通して私たちは人生の節目となるような経験をしているのかもしれないと思えてきた。

2. ラジャさんの講演

25年前に来日。学生生活を送る。様々な異文化体験。最初に一番印象に残ったのは「忙しい」ということ。ネパールでは、毎朝起きるとベランダに出て山（ヒマラヤなど）の景色をみながらお茶・ミルクティーを飲む。日本では、夜に忘れ物がないか準備をして、電車に間に合うように急いで出かける、学校で勉強して、家では宿題をする。「ちがい」を経験して、生活している間に疲れてきた。



子どものようにすなおに周りの人に尋ねてみると「なるほど」と思えるようになった。「ちがい」はどこにでも存在している。「ちがい」は素晴らしい。「ちがい」は面白い」と心から感じたとき、乗り越えることができた。乗り越えた経験からたどりついたのが、「異文化を知る、自分を知る」ということ。

それを伝えたいと考えて、『カトマンドゥ通信』を1994年に創刊した。20年経って100号を発行。カトマンドゥから現地の切手を貼って送られてくる。101号から『カトマンドゥ・ジャーナル』と改名。子どもたちが「ちがい」はへんだではなく、「ちがい」は面白いと感じるようになれば、イジメもなくなり平和な社会が生まれるのではないかと思う。

子どもたちと「異文化コミュニケーション」のワークショップを行う。高校や支援学校、小学校で取り組む。ネパールを紹介する授業はしない。異文化はただのきっかけで、その“ちがい”とどう向き合うのかわかれば学びが生まれる。

知っているつもりで知らないことがいっぱいある。故郷を再発見する。なぜ？と、自分自身にとっての意味を問う。そんな「再発見の楽しさ」をシニアの人にも伝えるワークショップもしている。



3. 自由交流

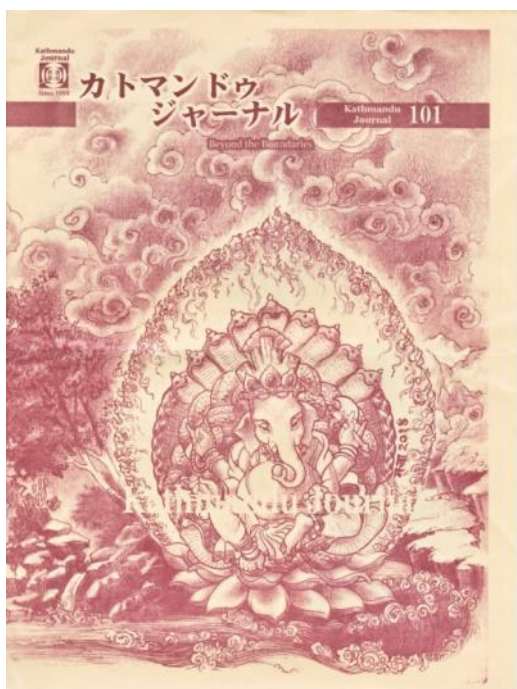
残り時間が短いにもかかわらず盛り上がった。クレパスに「はだいろ」がある。ラベルにも書かれている。小学生の頃、それを使わねばいけない気がしていた、という話から展開した。

子どもは6歳までは天才で、小学校の夏休みになるとダメになり、高校生になったらどうしようもなくなる。先生が絵を教えてしまうから。学校では色の使い方、筆の動かし方、描き方まで教える。「〇〇方式」なんていわれるものもある。日本の社会も学校も、“ちがいを主張するのではなく、「空気を読め」「点数を取れ」ということを暗に強要する社会だ。“ちがいを認めることに価値観をおく考え方はしてこなかった。子どもが自由に意見を述べ、話し合う授業をしてこなかった日本の学校。日本の学校教育の問題が出てきた。ラジャさんは、問題のない社会はどこにもない。自分が問題と向き合うこと、相手の意見を否定しないで聞くこと、子どもが自分で考えること、それは大人にとっても大切なことだと付け加えた。

ラジャさんのいう「異文化コミュニケーション」の考え方と授業を、日本の学校教育に反映できないか、具体的な方策を考えて行きたいと思いました。

ラジャさんの主催するNPO法人“クロスカルチャーメディア”のホームページは下記

<http://crossculture.jp.net>



『カトマンドウジャーナル』はじめCCMを応援してくださる皆さまへいつも、ありがとうございます。
CCMの活動は皆さまからの募金や寄付によってささえられています。2015年、カトマンドウジャーナルは前身カトマンドウ通信の創刊から21年目を迎え、CCMはNPO法人となって5年になります。「異文化を知る、自分を知る」ため皆さまのご協力をお願いいたします。

『カトマンドウジャーナル』の指定寄付をする
1994年創刊の前身カトマンドウ通信から、2015年・101号よりカトマンドウジャーナルとして刷新しました。「再発見」につながる発信を一層充実するための応援をお願いします。
寄付・1口3千円/年

CCMの会員になる
積極的にCCMの活動を応援して下さる方は、ぜひ会員としてご支援ください。会員の方はカトマンドウジャーナルをご友人など(賛助会員は1人、正会員は2人までに無料・譲渡できます。その他、カレンダーやオリジナルのカードなど(賛助および正会員)、およびカトマンドウからのお土産(正会員)を毎年お贈りします。
個人賛助会員 6000円/年
個人正会員 12000円/年
(会員種別と年会費。入会金は無料です)

その他、一般寄付は随時(額面は任意・一口何円からでも結構です)

いずれの方法のご支援もCCMの銀行口座でお手続きをお願いします。誠にお手数ですが、お手続き後、ご連絡先をお知らせください。Email: ccm@crossculture.jp.net

三菱東京UFJ銀行 梅田支店
(普通)0127343
名義:特定非営利活動法人クロスカルチャーメディア

- 13 -